

# 研究会報告

## 物流研究会

### 1. 2010 年度春季研究会

- (1) 日時：平成 22 年 5 月 29 日(土) 10:00～12:00
- (2) 場所：東京海洋大学越中島キャンパス 2 号館 1 階 2103 教室
- (3) 講演内容

特別講演，一般講演がそれぞれ行われた。

特別講演「トラック運送事業の現状と課題」

永嶋 功(社団法人全日本トラック協会 広報部長  
(兼) 情報化推進部長)

トラック運送事業の現状について，国内貨物の輸送量と分担率の推移，物流業の事業分野別営業収入，産業別就業者数，トラック運送事業者の規模などの基礎的なデータから，産業別月間別労働時間及び平均月間収入，トラック運転者の年齢構成比など運送事業の課題について検討がなされた。取り巻く環境としては，営業用トラック事故件数と死亡者数が種々の取り組みによって減少する一方，環境対策一トラックの排出ガス規制，自動車関係諸税の現状への対応が社会的に求められている。このほか，運輸事業振興助成交付金，中型免許試験実施状況といった運転免許統計の現状など最新のトピックを交えながら運送事業の現状と課題について，報告された。

一般講演「望ましいトラック背面板の表記に関する研究」

土井義夫 (朝日大学)

物流のトラック輸送に対する要望の一方で，社会的基盤である道路を走行することから事業用自動車の事故削減目標が設定されている。本講演では，将来の背面板の望ましいトラック背面板を把握し，その特徴と今後の掲載レイアウトなどを検討し，事故対策など社会的意味のある背面板のあり方についての提案がおこなわれた。

トラック背面板の現状について広告的効果と安全面での効果という役割，背面板の果たす役

割が，リアゲートとしての機能，ロゴマークなどの企業名の告知，各種マークの告知など多様がしてきている。車体データ(写真)の収集と，各種データの集計結果をもとに，①トラック背面板に関する調査方法の基本的な手法の明確化，②平均的な車両を把握することにより，それ以外の車両のレイアウトや色がどのような経緯で使われるのかを研究することが可能になったことについて報告された。

#### (4) 研究会総会

##### 1) NAVIGATION の執筆について

松尾俊彦 (東海大学) 前会長の提案により，「戦略港湾」についてプロジェクトを組んで，本年 10 月ごろより希望者を募り，息の長い取り組みとして物流研究会としてのあり方を示すような研究を進めることが確認された。

##### 2) 研究会の在り方について

運営委員会の体制について現運営委員会に一任されることが了承された。

### 2. 2010 年度春季運営委員会

- (1) 日時：平成 22 年 5 月 29 日(土) 12:00～13:00
- (2) 場所：東京海洋大学越中島キャンパス 2 号館 1 階 2103 教室
- (3) 議題

#### 1) 運営委員会の体制について

下記の運営委員会のメンバーで行うことが確認された。

黒川久幸 (東京海洋大学)

西村悦子 (神戸大学)

新谷浩一 (大島商船高専)

藤谷寛幹 (日立物流)

高野智貴 (ティーエルロジコム)

土井義夫 (幹事：朝日大学)

岡山正人 (編集幹事：広島商船高専)

永岩健一郎 (会長：広島商船高専) 計 8 名

2) ホームページの運用

日本航海学会サイト本体 (nifty.com) に移行するまで暫定的な運用を黒川久幸氏 (東京海洋大学) にお願ひすることとなった。

3) 会計処理について

平成 21 年度繰越分と平成 22 年度予算より、2010 年度春季研究会での特別講演の謝礼に充てることとなった。運営委員会後、会計処理については会長の管理下から幹事の期間におい

て土井幹事 (朝日大学) が管理することになった。

4) 2010 年秋期研究会について

鳥羽商船高等専門学校で開催されるため、三重圏周辺の地域から講演者を募ることが確認された。

(幹事: 土井義夫)